

学校関係者各位

学校法人未来学舎
 松本情報工科専門学校
 学校長 千村 重平
 (公印省略)

「平成29年度 自己点検評価報告書」の公表について

平成29年度における当校の自己点検・評価を行い、結果を報告書としてまとめましたので、公表いたします。報告書の改善事項等を真摯に受け止め、関係各位のご意見及びご指導を賜りつつ、全教職員一丸となって改善や工夫を図り、教育活動の更なる向上をめざします。今後とも、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

概要

4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

大項目	前回平均 H29年3月	今回平均 H30年3月	平均点の概要説明
1. 教育理念目標	3.0	3.2	【ほぼ適切】な状態である。今後、現状維持以上を目指す。
2. 学校運営	2.7	2.7	【ほぼ適切】に近い状態であるが、改善を必要とする部分がある。
3. 教育活動	3.3	3.5	【ほぼ適切】な状態である。今後、現状維持以上を目指す。
4. 学修成果	3.2	3.3	【ほぼ適切】な状態である。今後、現状維持以上を目指す。
5. 学生支援	2.8	2.9	【ほぼ適切】に近い状態であるが、改善を必要とする部分がある。
6. 教育環境	2.9	3.1	【ほぼ適切】な状態である。今後、現状維持以上を目指す。
7. 学生の受入れ募集	3.3	3.6	【ほぼ適切】な状態である。今後、現状維持以上を目指す。
8. 財務	2.8	2.9	【ほぼ適切】に近い状態であるが、改善を必要とする部分がある。
9. 法令等の遵守	3.2	3.3	【ほぼ適切】な状態である。今後、現状維持以上を目指す。
10. 社会貢献地域貢献	3.0	3.2	【ほぼ適切】な状態である。今後、現状維持以上を目指す。
学校全体	3.0	3.2	【ほぼ適切】な状態である。今後、現状維持以上を目指す。
現 状	<p>前回と比較し 0.3ポイント以上変化のあった項目に対して、色付けをして表示している。各項目が改善傾向にあり「学校全体」が 0.2ポイント上昇した。「7. 学生の受入れ募集」の評価が高くなっている。情報システム学科の入学予定者数が改善したことによる。自動車整備学科に続き情報システム学科も職業実践専門課程に認定され、企業連携が深まり「3. 教育活動」が高得点になっている。</p>		
今後の改善策	<p>学生募集を安定させていくことは財務にもつながる重要な事柄である。2019年4月より「スポーツバイク学科」を新設する。3学科体制となり大きな変化を迎える。新学科の学生募集は2018年度より開始される。新学科設立により学生募集が安定するよう、広報活動に努めていく。</p>		

2017年度 学校自己評価

2018年3月
松本情報工科専門学校

1. 松本情報工科専門学校の教育目標

工学を実践する技術者として、社会から期待される知識と技術を持ち、どのような職場でも歓迎される人格を兼ね備えた人材を育成する。

2. 2017年度の目標と計画

- ①企業連携したオープンキャンパスや積極的な高校訪問を通じて学生募集を強化する。
- ②情報システム学科において企業連携授業を実施し、職業実践専門課程に申請し認定を目指す。

3. 評価項目

(適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1)

(1). 教育理念・目標

	評価項目	前回	今回
1	・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	3.4	3.3
2	・学校における職業教育の特色は何か	2.7	2.9
3	・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	2.6	3.2
4	・学校の理念・目的・人材育成像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3.1	3.0
5	・各学科の教育目標, 育成人材像は, 学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.0	3.3
平均		3.0	3.2

①. 評価結果

平均点が0.2ポイント改善した。新学科設立のため、「3 将来構想」の点が伸びている。

②. 今後の改善方策

2019年4月より「スポーツバイシクル学科」が新設される。2018年度より学生募集を開始するので広報に努めていく。

(2). 学校運営

	評価項目	前回	今回
1	・目的等に沿った運営方針が策定されているか	2.6	2.9
2	・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	2.4	2.7
3	・運営組織や意思決定機能は, 規則等において明確化されているか, 有効に機能しているか	2.1	2.3
4	・人事・給与に関する規程等は整備されているか	2.4	2.8
5	・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	2.6	2.4
6	・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	2.6	2.9
7	・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.4	3.0
8	・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.1	2.9
平均		2.7	2.7

①. 評価結果

平均点は前回と変化ないが、0.3ポイント以上変化のあった項目がある。

②. 今後の改善方策

上昇した項目もあるが、全体的に点数が低めであるので、学校運営についてはできることから整備を進めていきたい。

(3). 教育活動

	評価項目	前回	今回
1	・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.4	3.3
2	・教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.4	3.6
3	・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.7	3.4
4	・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.3	3.3
5	・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.0	3.3
6	・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3.0	3.7
7	・授業評価の実施・評価体制はあるか	3.3	3.6
8	・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3.4	3.7
9	・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.7	3.7
10	・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.9	3.7
11	・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.4	3.9
12	・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	3.1	3.1
13	・関連分野における先端的な知識・技能を習得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための取組みが行われているか	2.9	3.1
14	・職員の能力開発のための研修等が行われているか	2.9	3.4
	平均	3.3	3.5

①. 評価結果

平均点が0.2ポイント改善した。「6 職業教育」の点数が大きく伸びたが、自動車整備学科のインターンシップ、情報システム学科の企業連携授業の実施が影響している。

②. 今後の改善方策

新しい取り組みにより教育活動は自己評価が高い。自信を持って継続していきたい。

(4). 学修成果

	評価項目	前回	今回
1	・就職率の向上が図られているか	3.7	3.8
2	・資格取得率の向上が図られているか	3.7	3.9
3	・退学率の低減が図られているか	3.3	3.1
4	・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.7	2.9
5	・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2.6	3.0
	平均	3.2	3.3

①. 評価結果

平均点は少し向上した。今期の休退学者は6人で、「3 退学率」の項目は点数を落とした。

②. 今後の改善方策

休退学は理由も様々で簡単な問題ではないが、休退学率の低減は来年度の目標としていきたい。

(5). 学生支援

	評価項目	前回	今回
1	・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4.0	3.6
2	・学生相談に関する体制は整備されているか	3.0	3.3
3	・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	2.9	3.2
4	・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2.3	2.6
5	・課外活動に対する支援体制は整備されているか	2.6	2.3
6	・学生の生活環境への支援は行われているか	2.7	2.7
7	・保護者と適切に連携しているか	3.1	3.2
8	・卒業生への支援体制はあるか	2.6	2.6
9	・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2.7	2.7
10	・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	2.3	2.6
	平均	2.8	2.9

①. 評価結果

平均点は少し向上した。0.3ポイント以上変化のあった項目がある。

「1 就職」について、昨年は早期に全員内定となり満点がついた。

②. 今後の改善方策

「3 経済的な支援」は提携学生寮を始めた影響がある。提携学生寮は継続する。

(6). 教育環境

	評価項目	前回	今回
1	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	2.9	3.0
2	・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	2.9	3.1
3	・防災に対する体制は整備されているか	2.9	3.1
	平均	2.9	3.1

①. 評価結果

平均点が0.2ポイント向上した。その一方で自由記入欄において、実習車両が古くなり新しい技術の学習がおこなえないという意見も見られた。

②. 今後の改善方策

経営的観点から実習車両をすぐに更新することは難しいが、計画的に実施していく必要はある。

(7). 学生の受入れ募集

	評価項目	前回	今回
1	・学生募集活動は、適正に行われているか	3.3	3.8
2	・学生募集活動において、教育成果は適正に伝えられているか	3.3	3.4
3	・学納金は妥当なものとなっているか	3.4	3.4
	平均	3.3	3.6

①. 評価結果

平均点が0.3ポイント向上した。来年度の学生募集において、情報システム学科の入学予定者数が改善したことが要因である。

②. 今後の改善方策

次年度の募集において、既存2学科が今年度の調子を維持するとともに、スポーツバイシクル学科をしっかりと広報していく必要がある。

(8). 財務

	評価項目	前回	今回
1	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2.2	2.5
2	・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2.7	3.1
3	・財務について会計監査が適正に行われているか	3.2	3.1
4	・財務情報公開の体制整備はできているか	3.0	3.0
	平均	2.8	2.9

①. 評価結果

平均点は少し向上した。学生募集が改善したことの影響がある。

②. 今後の改善方策

1年1年の学生募集の安定が財務基盤につながるため、引き続き学生募集に力をいれていく。

(9). 法令等の遵守

	評価項目	前回	今回
1	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.3	3.4
2	・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.1	3.2
3	・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	2.9	3.0
4	・自己評価結果を公表しているか	3.6	3.7
	平均	3.2	3.3

①. 評価結果

平均点は少し向上した。大きな変化は見られない。

②. 今後の改善方策

引き続き法令遵守に努めていく。

(10). 社会貢献・地域貢献

	評価項目	前回	今回
1	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.1	3.7
2	・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2.1	2.6
3	・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3.6	3.4
	平均	3.0	3.2

①. 評価結果

平均点が0.2ポイント向上した。「2 学生のボランティア」について、今年度ボランティアの募集を初めて実施したので点数が向上した。

②. 今後の改善方策

地域清掃の自発的なボランティアを募ったが、参加者が少なかった。動機付けを考えたい。